

# Red Hat Ansible Tower がもたらす強力な自動化で IT システムの簡素化と管理を実現

Forrester Consultingは、Red Hat® Ansible® Towerが組織にもたらす潜在的な財務上の影響を評価するフレームワークを読者に提供するために、Total Economic Impact™ (TEI)を実施しました。この投資に伴う利益、コスト、リスクの詳細を理解するため、Forresterでは、Ansible Towerを使用している顧客企業1社に対して取材調査を行いました。このサマリーのもととなったTEI調査全体は、[ここ](#)からダウンロードできます。

この顧客への取材調査とデータ分析から、Ansible Towerは今後3年間にわたり、次のような財務的影響を与えるという結論に至りました。170万ドルの利益に対してコストは70万4,490ドルで、正味現在価値(NPV)は103万ドル、ROIは146%です。

**定量化できる導入メリット** 本レポートの取材に応じた企業は、主に以下の導入メリットを享受しました。

- ▶ **運用効率を改善し、デリバリーまでのリードタイムを 66%短縮。** Ansible によってクラウドサービスリソースのプロビジョニングに関連する作業を自動化し、リードタイムを大幅に短縮しました。
- ▶ **コンプライアンス機能を自動化し、38万9,707ドルを削減。** Ansible を使用して主要なネットワークシステムの機能を自動化し、高価なコンプライアンスを購入する必要性を排除しました。
- ▶ **再構成を自動化し、工数を 94%削減。** 復旧と再構成のプロセスを自動化することによって、対応する時間を短縮し、外部の請負業者に頼る必要性を軽減しました。
- ▶ **セキュリティアップデートを自動化し、工数を 80%削減。** セキュリティアップデートプラクティスを簡素化し、自動化することによって、時間を短縮し、リソース要件を引き下げました。

**定量化できない導入メリット** 取材に応じた企業は、次のような定量化できない導入メリットも享受しました。

- ▶ **スタッフの追加雇用を回避。** IT タスクの簡素化と自動化によって、IT 部門を拡張する必要性を排除しました。
- ▶ **収益認識を促進。** サーバーデリバリーの自動化で、収益を迅速に認識できるようになりました。
- ▶ **セキュリティ標準を改善。** 主流となっているセキュリティ標準をスクリプトに導入した結果、現在の要件を容易に維持できるようになりました。
- ▶ **コストのかさむエラーを回避。** プロセスの自動化により、手作業に伴いがちなコストのかさむエラーを回避しました。
- ▶ **従業員の士気を向上。** タスクを自動化することで、Ansible の検証など、より刺激のあるプロジェクトに従業員を配置できるようになった結果、士気が向上しました。
- ▶ **人材プールを拡大。** Ansible Automation を使用することで、専門的なプログラミング言語スキルの必要性が減少しました。

## サマリー

委託調査「The Total Economic Impact Of Red Hat Ansible Tower」に基づいています。

## 手法

このフレームワークの目的は、投資の意思決定に影響を与えるコスト、利益、柔軟性、リスク因子を特定することにあります。Forresterでは、Ansible Towerの影響を評価するために、Forresterのアナリスト、Red Hatのステークホルダー、および現在、Ansible Towerを利用している、ある顧客企業との面接調査を含め、多段階アプローチを採用しました。Forresterでは、TEI調査手法を使用した取材調査の代表的な結果を踏まえた財務モデルを作成しました。

## リスク調整

Forresterでは、利益と費用の見積もりにおける不確実性を考慮し、取材した企業の問題や懸念事項に基づいて、財務モデルのリスク調整を行いました。



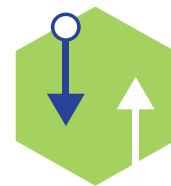
ROI  
146%



総利益 PV  
\$173 万



NPV  
\$103 万



投資回収期間  
3 か月未満

## Ansible のカスタマージャーニー

本調査において、ForresterはRed Hat Ansible Automationを使用しているユーザー企業1社に対して取材調査を行いました。ユーザー企業の詳細は以下のとおりです。

- ▶ 米国に拠点を置き、世界中で事業を展開しているマネージドサービスプロバイダーです。
- ▶ 北米とヨーロッパで5か所のデータセンターを管理しています。
- ▶ 世界中で1,000名を超える従業員を雇用しています。
- ▶ Ansibleを配備する前は、Unixプラットフォームを使用してデータセンターを管理していました。
- ▶ 現在では、Ansible Towerを使用してマネージドクラウドプラットフォーム上でタスクの自動化と実行を行っています。このタスクには、サーバーの配備、オペレーティングシステムの配備、ネットワークング、再構成、およびパッチ適用が含まれます。同社は、Ansible Towerを使用して1,500台のノードを管理しています。
- ▶ Ansible EngineでPlaybookを作成した後、Ansible Towerで自動化の規模拡大と制御を行っています。

## 主な課題と成果

取材調査を行った企業は、ビジネスに関して次の課題を共有しており、それがAnsible Towerに対する投資のきっかけになりました。

- ▶ **時間のかかる手動での入力。** 同社は、頻繁に行う作業のコマンドライン入力を手動で行っており、その結果、運用効率が下がっていました。
- ▶ **自動化されたクラウドプラットフォームのスケールリングに関する課題。** 同社は、コマンドラインを使用してクラウドプラットフォームを拡張するなど、とうてい受け入れられず、従業員の負担が大きすぎるということを理解しました。
- ▶ **スキルの限界とコストの高い請負業者。** 同社は、高度な運用を管理し、顧客のニーズを満たせるだけのスキルが不足していたため、高額な請負業者に頼って、スキルギャップを埋めなければならませんでした。
- ▶ **増加する顧客のニーズや期待への対応が困難。** 同社の人員数では、手動でサービスを提供しつつ、顧客の膨大なニーズに対応することはできませんでした。
- ▶ **インフラストラクチャのハードウェアに対する資本集約的な投資。** 同社はクラウドプラットフォームをスケールアウトし、高品質のサービスを維持するため、高価なインフラストラクチャアプライアンスへの投資を必要としていました。

取材調査した企業が投資によって達成した主な成果：

- ▶ **運用効率の改善。** 同社は、Ansible Automationで日常業務を自動化することによって、顧客に納入するまでのリードタイムを削減しました。

「当社では顧客の問題を素早く修正できるように努めていました。反復作業を手動で行うことが多かったため、Ansibleを使用することにしました。Ansibleは複数の製品にまたがって構築し、ロールアウトできるツールであることにすぐ気がきました。また、Ansibleは作業の一貫性を大幅に改善し、作業をより迅速に完了するのに役立ちます」

リードアーキテクト、マネージドサービスプロバイダー



「Ansible Towerを導入することで、プロセスの自動化が実現しました。従業員は、馴染みのないオペレーティングシステムやネットワーク機器についても、管理や問題解決ができるようになりました。手動でコマンドを入力したり、説明書を読んだりする必要がなくなりました。これらの作業はすでにスクリプトに記述され、自動化されています」

リードアーキテクト、マネージドサービスプロバイダー



- ▶ **コストの高いインフラストラクチャアプライアンスへの投資を回避。** 同社は、高価な有名ブランドのアプライアンスを購入する代わりに、機能を複製し、汎用 Linux システムに配備しました。これは、ユニットあたり 84% のコスト削減につながりました。
- ▶ **わかりやすい Ansible Playbook の作成。** 同社はプロセスを標準化して簡素化し、使いやすい Playbook を開発しました。この結果、シニアエンジニアや各分野の専門家は、これまで複雑と見なされていたタスクを委任できるようになりました。
- ▶ **セキュリティインシデントに対応する時間の短縮。** 何百ものコマンドラインを手動で処理する代わりに、再構成を自動化することによって、インシデントの対応時間を 94% 短縮できました。

## Red Hat Ansible Tower がコスト削減と生産性向上に貢献

Red Hatは使いやすいIT自動化テクノロジーを提供しています。このテクノロジーを利用すると、組織全体にわたるアプリケーションの配備、システムの管理、DevOpsの目標達成が容易になります。この企業はAnsible Towerを活用することで、クラウドサービスプラットフォームのコアIT運用を自動化し、高額な有名ブランドのアプライアンスの購入を回避し、クラウドサービス事業の運営をサポートしていました。同社は、まずAnsible Engineを導入し、特定の作業向けにPlaybookを作成するという、典型的なAnsibleの導入パターンをたどりました。その後、Ansible Towerを配備し、オーケストレーションを大規模に拡張して管理することで、自動化によるメリットを全社的に享受できるようになりました。

この企業におけるリスク調整後総利益の現在価値(PV)は3年間で170万ドルになります。

### 総利益

参照名	効果	1年目	2年目	3年目	合計	現在価値
Atr	運用効率化によるコスト削減	\$484,500	\$532,950	\$586,245	\$1,603,695	\$1,321,364
Btr	インフラストラクチャアプライアンスのコスト削減	\$0	\$247,000	\$247,000	\$494,000	\$389,707
Ctr	再構成のコスト削減	\$4,845	\$4,845	\$4,845	\$14,535	\$12,049
Dtr	セキュリティアップデートのコスト削減	\$2,622	\$2,622	\$2,622	\$7,866	\$6,521
	総利益(リスク調整後)	\$491,967	\$787,417	\$840,712	\$2,120,096	\$1,729,641

- ▶ **運用効率化によるコスト削減。** 日常業務の自動化、合理化によって、この企業は顧客へのデリバリーまでのリードタイムを 67% 短縮し、3 年間の PV で見る削減額の合計は 130 万ドルになりました。
- ▶ **インフラストラクチャアプライアンスのコスト削減。** 同社は Ansible Playbook を使用して主要なアプライアンス機能を自動化しました。つまり、ワークロードを記述して、汎用 Linux システムに配備したのです。3 年間の削減額は、PV で合計 389,707 ドルになっています。
- ▶ **再構成のコスト削減。** 自動化により、同社はセキュリティインシデントからの復旧に要する時間を 94% 短縮しました。3 年間の分析によると、削減額は PV で合計 12,049 ドルです。
- ▶ **セキュリティアップデートのコスト削減。** 同社は従来のスタッフでセキュリティアップデートを実施できるようにした結果、セキュリティアップデート実施時に 1 時間あたり 30 ドルを削減できます。3 年間の削減額は、PV で合計 6,521 ドルになっています。

「現在では、顧客は何を得られるかわかるようになりました。当社はデリバリー時間について新しい標準を立てることができました。これは、以前には不可能でした。ビジネスの観点から見ると、当社が顧客から選んでもらいやすくなることを意味します」

リードアーキテクト、マネージド  
サービスプロバイダー



# Ansible Tower のコストに含まれるものは年間サブスクリプション料金、実装費用、年間のアップデート料金、トレーニングコスト

取材調査した企業では、Ansible Towerへの投資に関連して、4種類のコストが発生しました。3年間の総コストは、リスク調整後のPVで704,490ドルでした。

## 総コスト

参照名	コスト	導入時	1年目	2年目	3年目	合計	現在価値
Etr	年間サブスクリプション料金	\$0	\$259,875	\$259,875	\$259,875	\$779,625	\$646,271
Ftr	実装と配備	\$23,874	\$0	\$0	\$0	\$23,874	\$23,874
Gtr	年間のアップデート料金	\$0	\$7,560	\$7,560	\$7,560	\$22,680	\$18,801
Htr	トレーニング費用	\$12,206	\$3,091	\$335	\$335	\$15,967	\$15,544
	総コスト(リスク調整後)	\$36,080	\$270,526	\$267,770	\$267,770	\$842,146	\$704,490

- ▶ **年間サブスクリプション料金。**年間サブスクリプション料金は、今後発生するアップデートや、1,500 台のノードを対象とする 24 時間 365 日のメンテナンスとサポートもカバーしています。
- ▶ **実装および配備費用は 25,000 ドル未満。**この企業は、最小限の手間と時間で Ansible Tower を配備できました。
- ▶ **年間のアップデート費用は 20,000 ドル未満。**同社は、Playbook のアップデートに毎月 1 営業日を費やす必要があります。
- ▶ **15,000 ドルを少し上回る程度のトレーニング費用。**同社は毎年、従業員のスキルをリフレッシュするために、最小限のトレーニングが必要です。

## 今、Ansible Tower に投資することで生まれる将来の機会

柔軟性の価値は顧客ごとに明らかに異なり、その価値の評価方法は組織ごとに異なります。企業が Ansible Tower を導入することを選択した後で、以下に示すような追加の用途やビジネス機会があることに気付く場合があります。

- ▶ **プラットフォームを拡張して、顧客に新しいサービスを提供。**Ansible Tower によって、企業は継続的な IT 運用を合理化し、新しいイニシアチブにスタッフを集中させることができます。この結果、従業員は実験的な新しいサービスの開発に時間を費やし、既存のクラウドプラットフォームを改善または拡張する方法を模索することができます。
- ▶ **より多くのサービスラインへの Ansible の配備。**同社は、Ansible の使用を通して獲得した知識を活用し、クラウドプラットフォームを超えて業務を簡素化、自動化、合理化する方法を模索することを計画しています。

「従業員は、毎日同じ作業の繰り返しでうんざりしていました。もっと興味を持てる業務を求めていました。当社の従業員には、こうしたタスクを自動化することで仕事が減るのではなく、より興味深いプロジェクトに時間を使えるようになる」と説明しました」

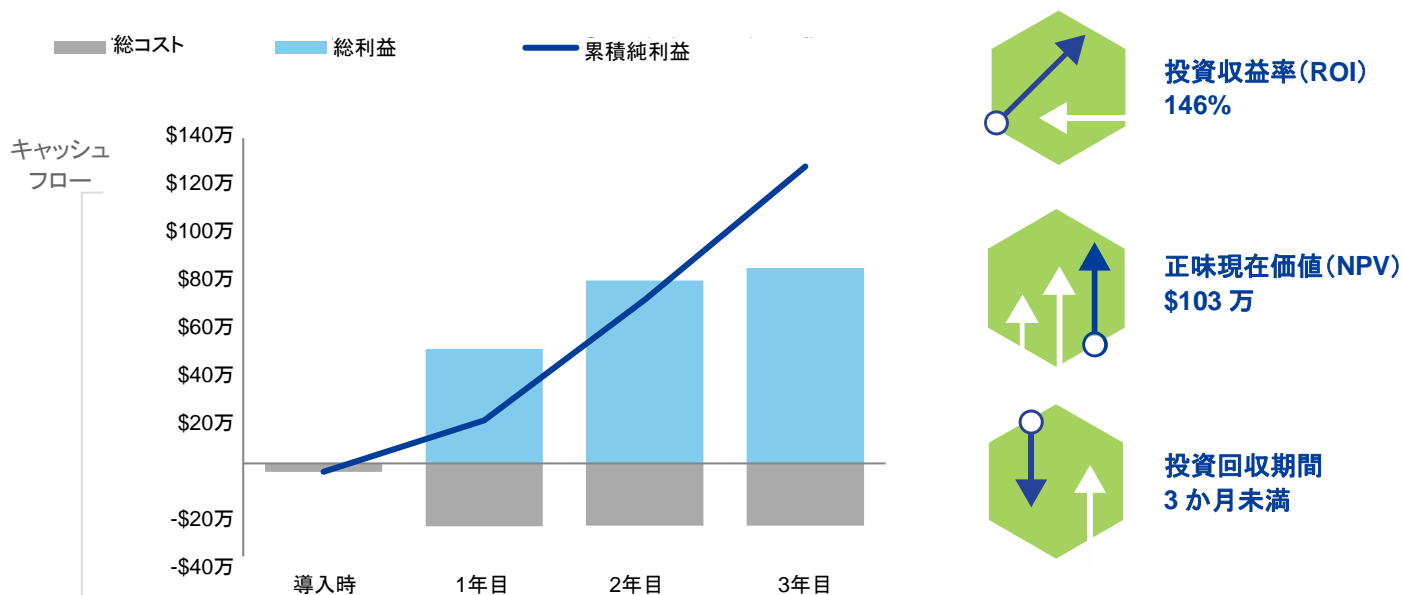
リードアーキテクト、マネージドサービスプロバイダー



TEI によって定義される柔軟性は、追加容量や機能への投資であり、将来の追加投資のためにビジネス上の利益につながる可能性があります。これにより、企業には将来のイニシアチブに参加する「権利」や能力が与えられますが、企業がこのイニシアチブに参加する義務はありません。

## 財務サマリー

利益とコストのセクションで計算された財務結果は、企業のAnsible Towerへの投資に対するROI、NPV、および投資回収期間を計算するために使用されます。Forresterは、この分析において年間割引率を10%と想定しています。



詳細については、[こちら](#)からRed Hat Ansible TowerのTEI分析全文をダウンロードしてください。

## 情報開示

本レポートは次の点に留意してご参照ください。

- 本調査はRed Hatの委託により、Forrester Consultingが実施しました。本調査は比較分析を目的としたものではありません。
- Forresterは、他の企業が受ける可能性のある投資利益に関する想定は行っていません。Forresterでは、本報告書で提供されるフレームワークに基づいて独自に数値を予測し、Red Hat Ansible Towerへの投資の妥当性を判断されることを読者にお勧めします。
- Red Hatは本報告書の内容を確認し、Forresterにフィードバックを提供しています。本調査および調査結果については、Forresterがこれを編集・管理する権限を有し、調査結果と矛盾する変更や意味が曖昧になるような変更は一切行っておりません。
- Red Hatは取材調査の対象である企業を紹介しましたが、取材調査には参加していません。

### FORRESTER CONSULTING について

Forrester Consultingは、組織からの委託により第三者機関として客観的な調査を行い、これに基づくコンサルティングを提供することで事業の成功を支援しています。短期の戦略セッションから個別のご要望に応じたプロジェクトまで、Forrester Consultingの経験豊富なリサーチアナリストが直接お客様に対応し、それぞれのビジネスに関する課題について専門的な知見を提供いたします。

<https://go.forrester.com/consulting/>

### TEI について

Total Economic Impact™ (TEI) 法は、Forrester Researchが開発した評価方法で、企業的意思決定プロセスの構築に役立ち、ベンダーは評価結果に基づいて自社の製品やサービスの価値をクライアントに紹介することができます。TEI手法を使用することで、経営幹部や重要な利害関係者に対してITイニシアチブの実質的な価値を実証、正当化、および実現することができます。TEI手法は、投資価値を評価する4つの構成要素、すなわち利益、費用、リスク、柔軟性からなります。<https://go.forrester.com/consulting/content-marketing-consulting/>

© 2018, Forrester Research, Inc. All rights reserved. 許可のない複製を禁ず。本書内の情報は、入手可能な最善の情報源に基づいて記載されています。本書で取り上げた意見は当時の判断を反映したものであり、変更されることがあります。Forrester®、Technographics®、Forrester Wave、RoleView、TechRadar および Total Economic Impact は、Forrester Research, Inc.の商標です。その他の商標の所有権は、各所有者に帰属します。追加情報については、forrester.com をご覧ください。